

自転車を取り巻く利用環境観察

連載 ④

「信号を無視する理由」

自転車安全利用研究会 谷田貝一男

自転車の
信号無視に
よる事故が
2020年
は全国で
861件、
歩行者の信
号無視によ
る事故が
335件発
生していま
す。

歩行者との接触の危険

歩道通行の自転車が、右方向の道路を見て自動車が行き交っていることを確認しただけで、

信号を無視して横

断しています（写

真1）。

ところがこの自

転車は自動車だけ

に注意を払い、同

じ右方向の道路か

ら来た歩行者に気が付かず横断した

ため、この歩行者とぶつかりそうにな

りました（写真2）。

自動車との衝突の危険

自転車や歩行者が信号を無視する主な理由は、「急いでいる」「左右の道路を自動車が通行していない」です。しかし、このような理由で信号を無視しても事故は起こらないのでしょうか。

2021年7月、歩行者が信号を無視して横断歩道を渡りバイクと衝突した事故では、バイク運転者が重傷を負い、歩行者が重過失傷害容疑で書類送検されました。



写真1 右方向の道路を見て自動車の通行がないと確認 信号を無視して横断

そこで改めて、自転車が信号を無視したところによる事故発生危険性が高い状況を紹介いたします。



写真3 信号を無視して左折する自転車 自動車の接近に気が驚いている

事故はほんの瞬間・わずか1秒の出来事です。信号無視は自分が大丈夫と思っただけでも、事故を起こす危険性があることを、ぜひ再確認してください。